

教えて!

富山 けいざい



FITの終了って?

◆電力の固定価格買い取り制度 / 23年に
累計165万件該当

Q-そもそもどんな制度かな。

A-2009年11月に太陽光発電などの普及を目的に始まった余剰電力買い取り制度を元にして、国が定めた固定価格に基づき電力会社が再生可能エネルギーを一定期間（住宅用は10年）買い取る制度です。

買い取り費用は、電気料に「再生エ発電促進賦課金」として、毎月の電気使用量1キロワット時当たり2・95円を上乗せして賄われています。

Q-買い取り期間は終わるの。

A-住宅用を対象にした買い取り制度は当初の取り決め通り、昨年11月から順次期間満了を迎えています。FITを卒業する意味で「卒FIT」と呼ばれています。昨年の2カ月だけで53万件、200万キロワットが該当しています。経済産業省の試算では、23年には累計165万件、670万キロワットにも上るとされています。

Q-今後、卒FITとなった家庭はどうなるの。

A-基本的には、引き続き「売る（売電）」か「使う（自家消費）」かの選択になります。売電の場合は地域や買い取り機関によって条件や価格は異なりますが、FITのような高額買い取りは見込めないようです。大手電力各社の買い取り単価は1キロワット時当たり7～9円の間で設定されています。新電力各社の中には、自社製品の購入などの条件を満たせば10円以上での買い取り提示もあるようです。自家消費するには、いかに日中の電力消費を増やすかがポイントになると言えるでしょう。また、今後は蓄電池の購入や電気自動車への充電なども検討する価値があるでしょう。

Q-県内の状況は。

A-北陸電力エリア内では19年度に約9100件が買い取り期間終了となる見込みです。同社は電源の低炭素化に向けた取り組みの一環として購入を継続しており、その買い取り単価は1キロワット時当たり8円となっています。

（北陸経済研究所の須河孝一が解説しました。随時掲載します）

FIT期間が終了する住宅用太陽光発電の推移

